こと。

(ｲ) 県内の伝統や文化，先人の働きや出来事に関わる学習活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

㋐ 県内の主な歴史を手掛かりに，先人の働きや出来事，文化遺産などを知ること。

㋑ 歴史的背景や現在に至る経緯などに着目し，県内の文化財や年中行事の様子を捉え，それらの特色を考え，表現すること。

カ　外国の様子

(ｱ) 世界の中の日本と国際交流に関わる学習活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

㋐ 文化や風習の特徴や違いを理解すること。

㋑ 人々の生活や習慣などに着目して，多様な文化について考え，表現すること。

(ｲ) 世界の様々な地域に関わる学習活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

㋐ 人々の生活の様子を大まかに理解すること。

㋑ 世界の出来事などに着目して，それらの国の人々の生活の様子を捉え，交流することの大切さを考え，表現すること。

3　指導計画の作成と内容の取扱い

(1) 指導計画の作成に当たっては，次の事項に配慮するものとする。

ア　単元など内容や時間のまとまりを見通して，その中で育む資質・能力の育成に向けて，生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図るようにすること。その際，生活に即した具体的で分かりやすい内容を取り上げ，社会的事象の見方・考え方を働かせ，事象の特色や意味などを考え，説明したり表現したりするなど，自ら意欲的に取り組むことのできる活動の充実を図ること。

イ　各教科等との関連を図り，指導の効果を高めるようにするとともに，小学部の生活科の学習との関連を踏まえて，系統的・発展的に指導できるようにすること。

ウ　コンピュータや情報通信ネットワークなどを活用して，情報の収集やまとめなどを行うようにすること。

(2) ２の各段階の内容の取扱いについては，次の事項に配慮するものとする。

ア　各学校においては，地域の実態を生かして，生徒が興味・関心をもって学習に取り組めるようにするとともに，観察や見学，聞き取りなどの調査活動を含む具体的な体験を伴う学習を通し，自分の生活と結び付けて考えたことをまとめることで知識が深まるようにすること。

イ　２の内容については，以下の各事項について配慮するものとする。

(ｱ) アについては，集団生活を送る上で必要とされる人との関わりやきまりを守ることについて理解できるようにするとともに，主体的に社会参加するための基礎的な力を養うこと。

(ｲ) イについては，身近な公共施設を取り上げ，その役割や利用できる制度を知ることで，よりよい社会生活を送ることができるようにすること。

(ｳ) ウについては，地域の実態に応じて，地震災害，津波災害，風水害，火山災害，雪害などの中から取り上げ，地域や自分自身の安全を守るために自分たちにできることなどを考えたり選択・判断したりできるようにすること。

(ｴ) エについては，身近な仕事を通して生産や販売について関心をもつこと。また，生活を支える事業について取り扱うことで，節水や節電の必要性を感じて取り組もうとすること。

(ｵ) オについては，地図の扱いに慣れるようにすること。また，主な文化財や年中行事の中から具体的事例を取り上げ，その特色が大まかに分かるようにすること。

(ｶ) カについては，我が国や諸外国には国旗があることを理解し，それを尊重する態度を養うようにすること。

〔数　学〕

1　目　標

数学的な見方・考え方を働かせ，数学的活動を通して，数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解し，事象を数理的に処理する技能を身に付けるようにする。

(2) 日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力，